

質問に対する回答について

件名	秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事
----	--------------------

番号	対象ファイル名等	対象ページ	質 問 事 項	回 答
1	01特記仕様書28-27	79頁	左記に記載の防護扉（避難坑、及び避難連絡坑）の材料費は、全損扱いという理解でよろしいでしょうか？ ご教示ください。	積算に関する質問についてはお答えできません。 なお、令和8年10月7日掲載予定の参考積算条件書その2をご確認ください
2	06-7設計図【参考図 トンネル】	17/34頁	左記の設計図における防音扉について 材料費は、全損扱いという理解でよろしいでしょうか？ ご教示ください。	質問番号1のとおりです。
3	05割掛対照表参考内訳書	3, 5 頁	左記の数量内訳（参考）の表記について、インバート栈橋設備においては、“材料費は全損扱い”との表記がございましたが、防音扉、防護扉については材料費の扱いについての表記がございません。同様に材料費の扱いについてご教示ください。	質問番号1のとおりです。
4	①特記仕様書 ②設計図（7/9）【参考図：トンネル】	①23頁 ②34/34頁	既設避難坑および既設避難連絡坑の「既設吹付コンクリート」について、特記仕様書21-2建設副産物の処理方法の「発生要因」に記載がないことから、建設副産物の運搬および処分に要する費用は、今回工事に含まないものと考えて良いでしょうか。	令和8年9月17日掲載の訂正公告3をご確認ください。
5	①特記仕様書	①56頁	閲覧資料の「001 秋田自動車道 和賀仙人他1トンネル詳細設計 03_設計報告書（トンネル）.pdf」11-36頁に、既設避難坑の「路盤コンクリートの取壊しは事前に撤去、同時作業が可能と考え、掘削サイクルタイムには含めない」とあります。そのため、トンネル掘削に先立って路盤コンクリートを撤去するものと捉えられますが、番号229～230構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し（Type A、Type B）に既設避難坑の路盤コンクリートの取壊し数量が含まれていません。路盤コンクリートの取壊し費用を計上する単価項目をご教示ください。	既設避難坑の路盤コンクリートの取壊しについては、トンネルの下半掘削と一連の作業を想定しており、別途、掘削サイクルタイムを考慮しておりません。 なお、路盤コンクリートの取壊しの費用については、トンネル掘削の各単価に含まれております。

6	①特記仕様書	①40頁	タイヤ方式からベルトコンベア方式になるため、閲覧資料の「001 秋田自動車道 和賀仙人他 1トンネル詳細設計 03_設計報告書（トンネル）.pdf」11-113頁において、ずり搬出時間が「$A2 \times B \times L \times 4 / H + 10$」が「$A2 \times B \times L \times J / 100 + 10$」に見直しされています。これに伴って、土木工事積算基準の19-13頁のトンネル掘削の代価表における「トラクタショベル運転時間 $S2 = X4 \times P3 \times L \times 4 / H + 30$」は「$S2 = X4 \times P3 \times L \times J / 100 + 30$」に見直すものと考えて良いでしょうか。	そのとおりです。
7	①特記仕様書	①40頁	機械掘削の摘要に記載された「本坑、坑口部」について、坑口部とはSTA48+83～STA51+83の300m区間のことでしょうか。異なる場合は、坑口部の示す区間をご教示ください。	坑口部はSTA48+83～STA49+55です。
8	①設計図（7/9）【参考図：トンネル】	①34/34頁	閲覧資料の「001 秋田自動車道 和賀仙人他 1トンネル詳細設計 03_設計報告書（トンネル）.pdf」11-36頁に、既設の「避難坑撤去時間合計 30min」とあり、掘削サイクルに含めていますが、避難連絡坑については記載がなく、掘削サイクルに含まれていません。避難連絡坑の吹付コンクリートなどの撤去はトンネル掘削に先立って施工するものと思われますが、その費用はどの単価項目に含まれるのでしょうか。 もし、掘削サイクルに含む場合は、撤去時間をご教示ください。	避難連絡坑の吹付コンクリートなどの撤去については、トンネル掘削と一連の作業を想定しており、別途、掘削サイクルタイムを考えておりません。 なお、吹付コンクリートなどの撤去の費用については、トンネル掘削の各単価に含まれております。
9	①特記仕様書	①41頁	避難連絡坑のトンネル掘削において、「割岩掘削方式」の実施許諾料もトンネル掘削の単価項目に含むと考えて良いでしょうか。	そのとおりです。
10	質問に対する回答⑩	番号1	特記仕様書11-2には「予定契約電力」が記載されており「総設備負荷合計容量」は記載されておりません。「総設備負荷合計容量」をご教示をお願いします。	総設備負荷合計容量については、93,806kw です。

11	質問に対する回答⑩	番号6	インバート掘削において機械掘削区間は「第3紀層」、爆破掘削区間は「第3紀層以外」と回答されていますが、地質縦断図からの判定ではなく「爆破」か「機械」で判定されているのでしょうか。ご教示お願いします。	令和8年9月7日に掲載している質問に対する回答について⑩の質問6の回答の通りです。
12	9月1日回答書 ⑤	番号7	「ずり処理工の異物 回答内容について」では、「避難坑における…」とされていますが、本坑における ずり処理工においても 対象と考えますが、よろしいでしょうか、ご教示ください。	質問番号4のとおりです。
13	特記仕様書	P14	工事用道路の指定にて指定されている工事用道路において一部片側通行となっている部分があります。土砂運搬において片側通行は加味されておりますか。ご教示お願いします。	加味しております。
14	⑥20260907回答書	6番	左記の回答書6番において、“インバート掘削に関して、爆破掘削区間では地山等級C、D、機械掘削区間では、地山等級第3紀層のC、Dである”との回答を頂いておりますが、“ずり処理工に関しても同様に、インバートのみならず、上下半掘削土も含めて爆破掘削区間が地山等級C、及びD、機械掘削区間は第3紀層のC、及びDである。”と考えてよろしいでしょうか？ ご教示ください。	そのとおりです。
15	⑥20260907回答書	21番	左記の回答書21番については、“先行ボーリングの費用は、工事工程表より100m/2.1日の施工能力で計上している。”という理解でよろしいのでしょうか？ パーカッション・ワイヤライン工法標準積算資料より試算すると、施工能力/日が大きく異なるように考えますが、設計上は、回答21番の通りに費用を考えているということで間違い無いでしょうか？	そのとおりです。
16	①特記仕様書 ②設計図【本線：のり面工】	①32頁 ②2/36～11/36	切土補強土工の摘要欄に逆巻との記載があります。のり面の安定を確保できる逆巻回数を決められているかと思いますが、各のり面における逆巻回数をご教示ください。	06_7 設計図【参考図：本線】15/19及び16/19より一段ずつ施工するものとお考え下さい。

17	NEXCO土木工事積算基準（令和8年度版）	10-77頁	切土補強土工(鉄筋挿入工)の削孔径90mm（クローラ型、スキッド型）は、市場単価の適用範囲外かと思いますが、お考えの歩掛をご教示ください。	積算に関する内容についてはお答えできません。
----	-----------------------	--------	---	------------------------